

「第34回Buyかわさきフェスティバル」で周知活動を行いました。

塩と暮らしを結ぶ運動では、2019年6月8日（土）に、神奈川県川崎市のJR武蔵溝ノ口駅コンコースで開催された「第34回Buyかわさきフェスティバル」（主催：川崎市／川崎商工会議所）において、周知活動を行いましたので、その様子をご紹介します。

川崎市と川崎商工会議所では、川崎市の名産品を市の内外に紹介し、地元での消費拡大に取り組む「Buyかわさきキャンペーン」を実施しており、その一環として、年2回、川崎市内の駅コンコースで「Buyかわさきフェスティバル」として、地元の名産品の拡販を目的とした展示即売会を開催しています。

川崎市に事業所のある日本精塩株式会社（日本特殊製法塩協会会員）は、従来、「Buyかわさきキャンペーン」に参加していますが、今回、「Buyかわさきフェスティバル」にブースを出展して、商品の即売と、塩と暮らしを結ぶ運動の周知活動を行いました。

同社のブースでは、塩と暮らしを結ぶ運動や熱中症対策のポスターを掲示し、ブースを訪問した方に、冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』や、公式キャラクター「塩イルカ」の風船、また塩飴やウチワをお配りして、運動の周知を図るとともに、時節柄、熱中症予防の必要性が高まることから、熱中症への注意を呼びかけました。

当日は、子供向けの駅長制服を貸し出での撮影会なども行われ、武蔵溝ノ口駅コンコースは大変にぎわいました。そのような中、約50名の方に、熱中症対策や塩と暮らしを結ぶ運動についてお伝えすることができました。

